

令和2年度自己評価結果報告書

学校法人川江学園
お宮の里幼稚園

1. 本園の教育目標

「心豊かdeganばる子ども」の姿を目指して、子どもの好奇心や探究心を引き出す環境を整え、遊びを通して様々な学びや体験ができるよう援助していくことで子ども達の間人形成の基礎を培い、心身の発達を助長する。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念、教育方針のもと、その教育目標に沿った評価項目について自己点検・自己評価を実施することによって、教職員が客観的に自らを振り返り、教育内容の改善に取り組むとともに安全管理面においては、繰り返し避難訓練を行って、反省と改善を積み重ねていく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	自己評価	取り組み状況
1	教育目標・教育方針	B	教育目標並びに教育方針の理解を深めるために定期的に会議を行うとともに保育の進め方について情報の共有を図った。
2	教育課程・指導計画	B	教育方針を踏まえて、幼児の姿に合った指導計画を策定した。
3	保育計画の策定	B	本園の教育目標、教育方針を共通理解したうえで、幼児の日頃の姿を観察し、子ども達の興味関心に基づいた計画を策定するように心がけた。また、教職員間において計画策定の経緯と実践効果について会議を行い、情報共有に努めた。
4	保育の質の向上	B	本園の方針に則り、教職員一同協力して知識や技術の獲得のための研修を重ねて、日々の保育に反映できるようにした。また、毎月1回のペースで大学教授を迎えて園内研修を行い、より良い保育環境作りを重点テーマにして会議を重ねた。
5	安全管理	B	緊急時(事故や怪我、感染症の発生時等)の対応手順について、全教職員が共通理解をもてるように取り組んだ。特に新型コロナウイルス対策については初動が大切であることから繰り返し共有する場を設けて確認を行った。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

重点的に取り組むべき目標や計画、課題について、全教職員が認識し、自己点検・自己評価に取り組み、自らの保育や安全管理を振り返ることで、段階的に改善することができたと思われる。今後も継続的にこれらの目標を掲げることで更なる保育の質の向上を図っていきたいと考えている。

5. 今後取り組む課題

	課題	取り組み状況
1	保育の質の向上	認定こども園へ移行し、教職員の増員による保育の質の低下を招かないよう園の教育目標や教育方針に対する理解の促進を図っていく。
2	保護者への情報発信	園の教育目標や教育方針に対する理解の促進を図っていくことが必要と思われる。具体的には「おたより」等を通じて、日頃の幼児の姿だけでなく、どのような背景から保育を実践しているのか、どのような経緯で行事種目としたのか等を伝えていく。
3	安全管理	新型コロナウイルスの収束が未だ不透明なため、引き続き対応マニュアルの充実化や教職員の対応方法について理解を深めていく。